

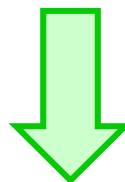
# 人生100年時代の健康寿命の延伸に向けた健康づくり 健康づくり政策推進アドバイザー事業



健康づくり政策を研究している先生を招聘し、「自然に健康になれる環境づくり」や「行動変容を促す仕掛け」など専門的な知識とともに「新たな手法」を活用し、**健康行動の未実践者**も含めた予防・健康づくりの推進や地域・保険者間の格差の解消を図り、**健康寿命の更なる延伸を図る。**

## 《アドバイザー》

鎌田 真光 (KAMADA Masamitsu) 博士 (医学), 教育学修士  
 東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻  
 健康教育・社会学分野 講師



## 《アドバイザー》

高木 大資 (TAKAGI Daisuke) 博士 (社会心理学)  
 京都大学大学院 医学研究科 社会的インパクト評価学講座  
 特定准教授 (※ 坂出身)

## 自然に健康になれる環境づくり

## 行動変容を促す仕掛け

健康な食事や運動  
 ができる環境

居場所づくりや社会参加

行動科学の活用

マーケティング

次世代を含めたすべての人の  
 健やかな生活習慣形成等

☆生活習慣・健康状態見える化事業

## 疾病予防・重症化予防

- ☆ 小児生活習慣改善支援事業
- ☆ 歯周病早期発見支援事業
- ☆ 禁煙サポート・受動喫煙防止対策事業
- ☆ 企業との連携によるがん検診受診促進事業

## 介護予防・フレイル対策、 認知症予防

☆ 認知症予防プログラム開発・実証事業

2040年までに健康寿命を男女ともに**3年以上延伸**し(2016年比)、**75歳以上**とすることを目指す。  
 2040年の具体的な目標 (男性：**75.37歳以上** 女性：**77.84歳以上**)

# 健康づくりトップ会談 【健康づくり政策推進アドバイザー事業】

健康行動への変容につなげていくために、健康づくりに関する社会学や行動学を専門に研究しているアドバイザーを招聘し、県や市町が実施する新たな取組みへの助言や指導を受けられる体制を整備

## 健康づくりトップ会談 R6.6.13

ウェルビーイングの考え方が注目されている。健康づくりの視点から始まる様々な取組が、地域の活性化や県民の満足度に発展すると思う。

〈トップ会談ファシリテーター〉  
健やか香川21県民会議 会長  
香川大学 副学長 山神 眞一氏

健康的な行動をとれていない人たちの理由やニーズを把握して、そこにアプローチしていきたい。

〈アドバイザー〉

京都大学大学院 医学研究科  
社会的インパクト評価学講座  
特定准教授 高木 大資 氏 (坂出市出身)  
(トップ会談当時)  
東京大学大学院 医学系研究科 講師

県や市町、地域住民、そして企業や団体の皆さんも含めて一体となって、多面的に取り組んでいくことが大事。

〈アドバイザー〉

東京大学大学院 医学系研究科 公共  
健康医学専攻 健康教育・社会学分野  
講師 鎌田 真光 氏

香川のよいところを生かして、楽しく自然に健康づくりができるようなアイデアを実現していきたい。

香川県知事 池田 豊人

